

科目名	救急法			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
救急医学を理解し、対象者の急変時に対応できる知識・技術を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
救急医療に必要な知識を習得し、緊急時に速やかな対応が実践できるよう、講義や実技で実施する。								
〔講師の実務経験〕								
兵庫県立のじぎく療育センター、兵庫県立光風病院にて、小児作業療法、精神科作業療法に作業療法士として従事								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
対象者の急変時に対して、的確な観察・判断・処置ができる。								
回数	講義内容							
1	救急医療概論							
2	バイタルサインの観察/全身観察							
3	バイタルサインの観察/全身観察							
4	止血法、包帯法、固定法、傷病応急手当							
5	心肺蘇生法;成人							
6	心肺蘇生法;AED							
7	心肺蘇生法;小児・乳児							
8	窒息の傷病者への対応							
	定期筆記試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験、実技を総合的に判断する。